

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1 部 1 年 2 部 1 年	保育内容総論	古川 寿子	
サブタイトル	保育内容を総合的に理解する	単 位 数	1
授業形態	演習		
開講時期	前期	出席要件	4 / 5 以上
到 達 目 標			
・幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼歩連携型認定こども園教育・保育要領の保育内容の保育内容について理解する ・各領域の関連性と全体構造、指導上の配慮点を理解できる。 ・小学校教育との関連性を理解できる。 ・乳幼児を主体とする保育を構想することの意義を理解し、指導案を立案し、振り返り、改善する。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
1. 幼児教育の独自性と、教育・保育の基本を理解することで、専門職としての知識・技能・表現力を身につける。 2. 様々な指導形態や幼児の発達を理解し、保育者としての意識を高める。 3. グループ討議や模擬保育等、協働的活動を通して互いに学び合う姿勢を確立する。			
授 業 の 方 法			
1 幼児教育の独自性を学ぶために視聴覚教材などを活用して具体的に理解し、保育内容「5 領域」の基礎や関連性を理解する。 2. 幼児教育の目的・目標と3つの資質・能力や、幼児期の終わりまでに育てたい姿等の理解を深め、学 校教育のスタートとしての役割を理解する。 3. 指導案の構成を理解し模擬保育とその振り返りを通して、具体的な保育を構想する力を養う。			
テキスト・教材・参考図書			
参考文献『保育・教育ネオシリーズ 改訂 保育内容総論 第4版』塩美佐枝編者 同文書院 2019 年 『幼稚園教育要領解説』文部科学省 2018 年 フレーベル館 2018 年他の授業で購入済みの人は購入しなくてよい。 『保育所保育指針解説』厚生労働省 2018 年 フレーベル館 2018 年他の授業で購入済みの人は購入しなくてよい。 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・厚生労働省・文部科学省 フレーベル館 2018 年 他の授業で購入済みの人は購入しなくてよい。			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
1. 定期試験は到達目標等に記述されている内容を中心に実施する。 2. 指導案作成や「授業シート」の振り返りや資料作成等を評価する。		定期試験 70% 資料作成・「授業シート」等 30%	
履修上の注意事項や学習上の助言など			
1. テキストは必要に応じて組み替えて使用する。 2. 毎回授業で「授業シート」に記入し、学びを確認する。また、授業後にも質問も随時受ける。 3. 5 領域のねらい及び内容、3つの資質・能力や幼児期の終わりまでに育てたい姿等の理解は保育内容の基本であるのでしっかり理解する。			

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1 回	ガイダンス 授業の目的、内容、進め方を理解する	授業科目の理解
2 回	保育内容とはなにか 保育内容・5領域について理解する	保育内容・5領域について理解し説明できる
3 回	保育内容の変遷 ・保育内容の変遷について理解する	保育内容の変遷過程を理解し説明できる
4 回	幼稚園教育要領にみる保育内容（1） 幼稚園教育の基本を理解する 資質・能力等の理解 映像を通して幼稚園の遊びや生活を知る	幼稚園教育の基本を理解し、説明できる
5 回	幼稚園教育要領にみる保育内容（2） 5領域「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」について理解する	5領域を理解し、説明できる
6 回	保育所保育指針にみる保育内容 養護と教育が一体化した保育内容について理解する 0から3歳未満児のねらい・内容を理解する	養護と教育の一体化の理解と0～2歳児のねらい・内容の理解
7 回	幼保連携型認定こども園教育・保育要領にみる保育内容 幼保連携型認定こども園の制度化の経緯と保育内容について理解する 映像を通してこども園の遊びや生活を知る	幼保連携型認定こども園の制度化の経緯と保育内容について理解し、説明できる
8 回	環境を通して行う教育 環境の意義と環境を通して行う教育について理解する	環境の意義と環境を通して行う教育を理解し、説明できる
9 回	一人一人に応じた保育 幼児理解と一人一人に応じた保育について理解する	一人一人に応じた保育について理解し、説明できる
10 回	幼保こ小の連携 幼保こ小の連携の重要性を理解する	幼保こ小の連携の重要性を理解し、説明することができる
11 回	教育・保育における指導計画の役割 教育課程・保育の計画と指導計画について理解する 指導計画について理解し、指導案を作成する（個）	教育課程・保育の計画、指導計画について理解し説明できる
12 回	指導案の構成の理解と作成のポイントを理解する（1） ・グループで指導案作成の仕方を理解する	グループでの指導案作成の理解力
13 回	模擬保育を目指して指導案構成を理解する（2） ・模擬保育を実践し、保育を構想する ・保育実践と保育の評価についての理解する	指導案に基づいた保育の展開と保育の評価を理解することができる
14 回	模擬保育を目指して指導案構成を理解する（3） ・模擬保育を実践し、保育を構想する ・保育実践と保育の評価についての理解する	指導案に基づいた保育の展開と保育の評価を理解することができる
15 回	・振り返りとまとめ 保育内容を総合的に捉える意義を理解する	保育内容を総合的に捉える意義を理解し説明できる
試験	定期試験	